

令和7年度

年末・年始

セーフ

ワーク

Safe Work

推進強調期間

年末年始における死亡災害の撲滅を目指し、
各種取組を実施します！

期間 令和7年12月1日（月）～令和8年1月31日（土）

安全衛生管理活動の「4K」の徹底をお願いします！

Ketui
決意表明

Kanri
Kasseika
管理活性化

Kousyo
高効率

Kyouiku 教育強化

※ 死亡災害では、建設業が最多（令和7年9月末日現在11人。
全業種27人の約4割。）であることから、集中的な建設現場の指導を実施します。

～ 皆 様 へ の お 願 い ～

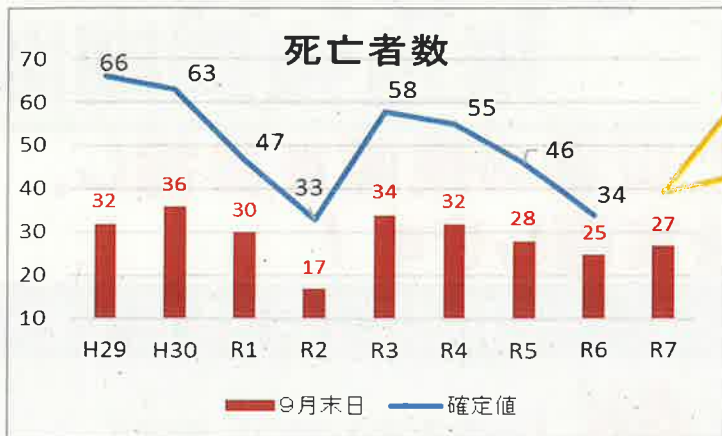
- ① 年末・年始の繁忙期をとらえた計画的、かつ、安全衛生に配慮した事業の運営
- ② 事業場内に「Safe Work」のロゴマークを掲示することなどによる労働災害防止の気運の醸成
- ③ 各関係団体幹部、各事業場の経営トップによるパトロールの実施
- ④ 安全衛生管理活動の的確な実施及び活性化に向けた取組
- ⑤ 墜落・転落災害、行動災害防止を始めとする安全衛生意識の向上等を目指した安全衛生教育の徹底（災害事例の共有や体験型安全衛生教育の実施等）
- ⑥ 各業種、各事業場における過去発生した災害を踏まえた労働災害防止対策の徹底
- ⑦ 化学物質のリスクアセスメントの実施を含めた化学物質管理の徹底
- ⑧ 積雪・凍結等、冬期における転倒防止、交通労働災害防止対策の徹底
- ⑨ 大掃除や棚卸し等の作業における脚立・はしごからの墜落、転落防止対策の徹底
- ⑩ 上記に加え、建設業については関係請負人等に対しても上記取組の徹底
- ⑪ その他、本強調期間にふさわしい創意工夫を凝らした取組



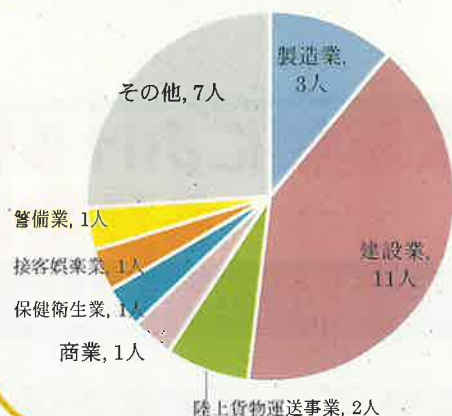
令和7年（9月末日現在）の東京労働局管内の労働災害発生状況

死亡者数（27人 新型コロナウイルス感染症り患者を除く。）

- ・製造業3人、建設業11人、陸上貨物運送事業2人など。
- ・事故の型では「墜落、転落」が最も多く10人死亡。



業種別死亡者数（令和7年9月末：内訳）



休業4日以上之死傷者数（7,111人 新型コロナウイルス感染症り患者を除く）

- ・前年同期を3.9%下回っているものの、**年間1万人を超えるおそれ。**
- ・業種別では、小売業、社会福祉施設、飲食店等の第三次産業の割合（66.6%）が多い。
- ・事故の型では、転倒、腰痛等の行動災害の割合（48.1%）が多い。



年末・年始に発生した災害事例

小売業

（年齢：60歳代）
商品を仕分け台に乗せる際、前かがみの状態から立ち上がった際、バランスを崩し転倒。
（休業2ヶ月）



建設業

（年齢：50歳代）
通路で脚立を使用して天井材の取付作業を行っていた際、バランスを崩して転落。
（休業2ヶ月）



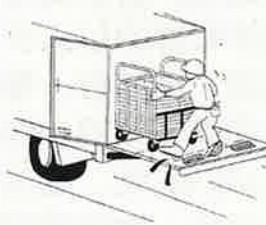
ビルメンテナンス業

（年齢：70歳代）
マンションの階段の清掃作業中、足を踏み外し転落した。
（休業1ヶ月）



道路貨物運送業

（年齢：50歳代）
トラック荷台で荷卸し作業中、後ろ向きで引張っていたためステップを踏み外して墜落した。
（休業2ヶ月）



出典：災害事例は労働者死傷病報告、挿入絵は職場のあんぜんサイトより（一部加工）

労働災害発生状況、労働災害防止に関するパンフレット等は東京労働局ホームページをご覧ください。